

令和6年7月8日

## 第1回学校運営協議会

1 実施日 令和6年6月24日（月）14:00～16:00

### 2 出席者

#### (1) 協議会委員（五十音順）

柏原 泰和（川西地区青少年健全育成協議会会長）

川端 康寛（三島高等学校同窓会長）

林 武文（関西大学教授）

松葉 祐治（高槻市立郡家小学校校長）

藤原 崇（三島高等学校PTA会長）

堀田 好江（高槻市立第二中学校校長）

#### (2) 学校側

山下克弘校長、山崎一郎教頭、廣澤洋二首席、一馬愛首席、古謝伸二事務長

### 3 議題

(0) 6限の授業見学、6月5日開催の体育祭の応援合戦の映像を鑑賞した後、以下の議題についての審議を行った。

(1) 授業見学について

(2) 令和6年度学校経営計画について

(3) 学校運営協議会 実施要項について

(4) 学校の状況について

### 4 委員からの指摘提言

#### (1) 授業見学について

- ・アクティブラーニングが進んでいる。パワーポイントの使い方も工夫されている。国語の授業では先生方それぞれの個性が出ていた。プリントは共有化されているのだろうか。
- ・教室に棚を設置できないか。教室が狭いが、物が多いと勉強できる環境にはなりにくい。1クラスを少人数にして、空間にゆとりができればよい。→1年生の英数の授業は少人数で実施しているが、確かに教室は狭い。1クラスの人数を減らす要望をしたい。
- ・記憶に残る授業が大事なのではないか。グループワークで話していない生徒がいるので、ファシリテーターが必要だと思う。
- ・自分で課題を決めて発表するなど、個別最適化の学びが大切だと思う。
- ・選択授業（家庭科）ではNISAについて学んでおり、専門的な話となっており勉強になった。

#### (2) 令和6年度学校経営計画について

- ・教員間で協力体制ができているのが良い。

- ・ 7割の教員が研修に満足しているのは良い。必要な情報の共有化がされていると思う。
- ・ (課題である家庭学習について) やらせるばかりでは、その後伸びない。燃え尽き症候群になってしまう。自分から主体的にやるのが大切。勉強と部活動のバランスを取りながら、いかに将来のことに目を向けさせるかだと思う。
- ・ (課題である家庭学習について) 自己実現の場が授業の中にあることで自分で必要なこと、授業外でやるべきことに気づかせることが、家庭学習に繋がるだろう。
- ・ 経営計画の指標の数値を伸ばしているのが素晴らしい。
- ・ 目的意識がないと勉強は続かない。能動的に動くためには、やったことに対して見える化が大事。
- ・ 学習を広い意味で捉えれば、学習の枠組みが変わってくる。子どもの選択肢をつぶさないこと。やりたいたいことがない子に向けて、選択肢を狭めないようにしてやってほしい。
- ・ 子どもたちは自分たちで考えてやると、喜んでやるようになる。
- ・ 教員が一貫して指導できる体制作りが大切だと思う。
- ・ 働き方改革は必須だが、子どもたちが学校へ来ることが楽しい、先生たちも働き甲斐があって楽しいことが大事だと思う。

### (3) 学校運営協議会 実施要項について

確認の上、了承を得た。

### (4) 学校の状況について

- ・ 私立無償化の影響で入学者の学力レベルは変化したのか。上の層が私学に行っているのだろうか。影響はどうだったのか。→実力テストの結果を見ると、そんなに大きな変化があるとは思えない。
- ・ 小中ではコロナ禍で協働的な学びの機会が減少し、やむなく一斉講義型授業になった。議論をさせたりということがなく、力を磨く機会がなかったと思う。高校では、そこを意識して授業をされている。
- ・ 進学率が高いのはすごいと思う。
- ・ 地元から見た三島は自由で良いが、保護者はきちんとしたところも育てたいという考えも持っている。この10年で良い方に変化してきているのではないか。生徒の多様な頑張りを見てもらえる学校だ。
- ・ 受験者数減少には危機感を持っている。真面目で地元愛の強い生徒が行く学校というイメージがある。公立高校としての魅力を三島高校も積極的にアピールしてほしい。
- ・ 兄弟姉妹が進学している。クラブ交流でも面倒見が良い。地元のつながりを大切にしていきたい。
- ・ アンケートで三島高校の魅力を聞いているが、マイナス面も聞き、不満を減らすということも必要ではないか。→このアンケートは入学後すぐの新入生対象に実施している。これとは別に、学校教育自己診断アンケートでマイナス面については聞いているし、教員間で共有化もしている。そこで改善していければと考えている。
- ・ 国公立大学という括りで進学率を出しているが、生徒には私立大学も含めて多様な進路を提示できると良いのではないか。
- ・ 服装の自由化については、自由の目的を考えさせることが大切だと思う。